

# 兵庫県における地域MCの オピニオンリーダーとなるための 指導救命士育成

兵庫県メディカルコントロール協議会  
兵庫県災害医療センター（神戸市消防局）  
事業課長（救急救命士） 菊池 悠

# 兵庫県MC体制

但馬地域MC協議会



西播磨・中播磨地域MC協議会



阪神・丹波地域MC協議会



東播磨・北播磨・淡路地域MC協議会



神戸市MC検討委員会



提供：神戸市

平成28年7月から指導救命士制度を導入（神戸には既に救急研修アドバイザー制度）

# 指導救命士の養成



- 兵庫県消防学校では平成29年度から指導救命士養成研修を開始
- 令和4年6月で99名を養成（全指導救命士の87%）
- 到達目標

「客観的に管轄MCにおける問題点を抽出・分析し、

得られた結果を的確に解釈・発表できる」



地域MCのオピニオンリーダーを目指す

# 県・地域MCでの取り組み

- 県MC協議会としての取り組み

  - MC従事医師研修

    - 県下各地で開催し運営・助言等で指導救命士が関与

  - MC医師連絡会

- 神戸市MC検討委員会

  - 救急研修委員会での提言

    - ⇒「指導救命士の役割・業務の明確化」、

      - 「指導救命士のやりがいや魅力の創出の必要性」

    - 救急研修アドバイザーが隊員指導、指導救命士による地域の課題解決

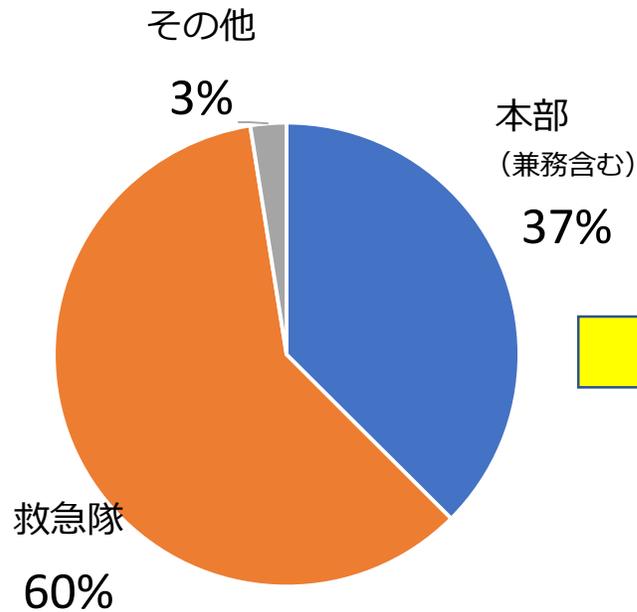
# 地域MCでの取り組み

- 東播磨・北播磨・淡路地域MC協議会：  
「病院内診療を理解し指導できる指導救命士」を目指し  
2カ月間の病院実習を認定要件に定める。  
クロス検証（他本部の指導救命士が事後検証）の実施
  - 阪神・丹波地域MC協議会  
阪神地区消防長会救急隊員研修会等において座長
- ⇒ 各地域において研修会、検証委員会等で活躍

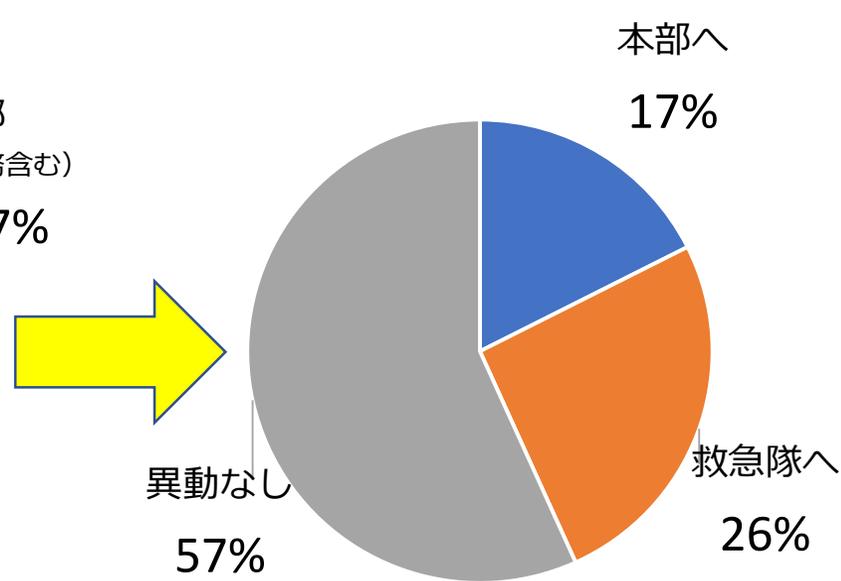
# 効果と課題 1 (認定前後の変化)

- 兵庫県消防学校での調査 (令和元年8月実施、N=76)

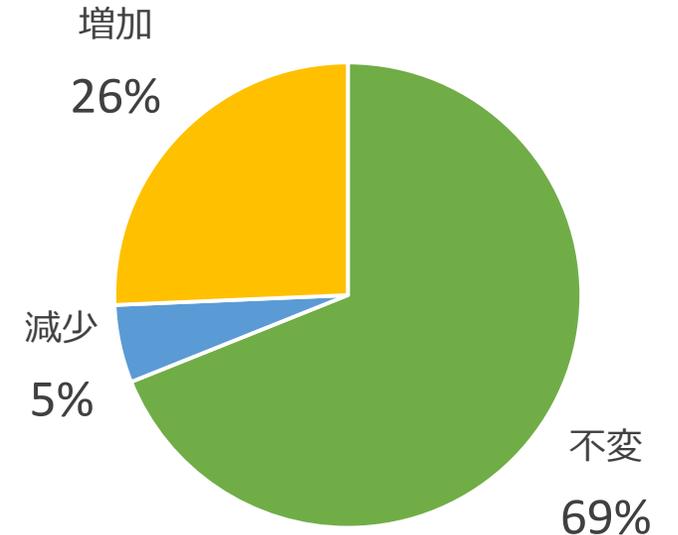
受講時の構成



認定後人事異動



認定前と比較して発表の機会



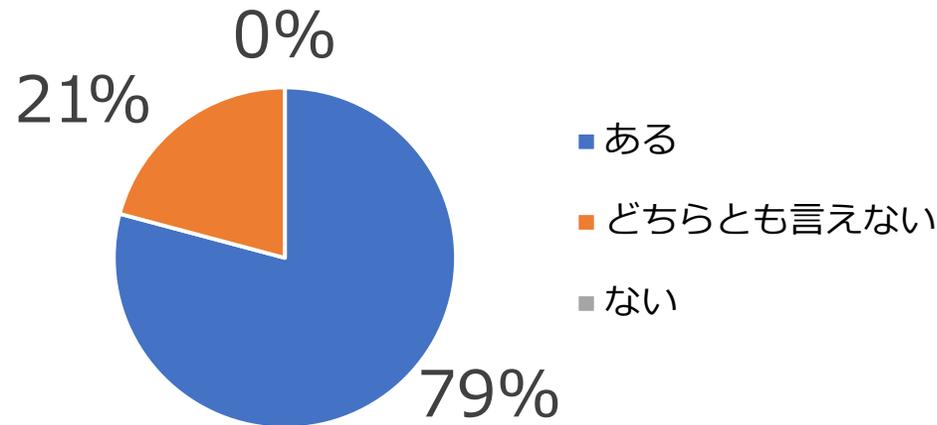
本部勤務者は9%減少

学会発表は増加

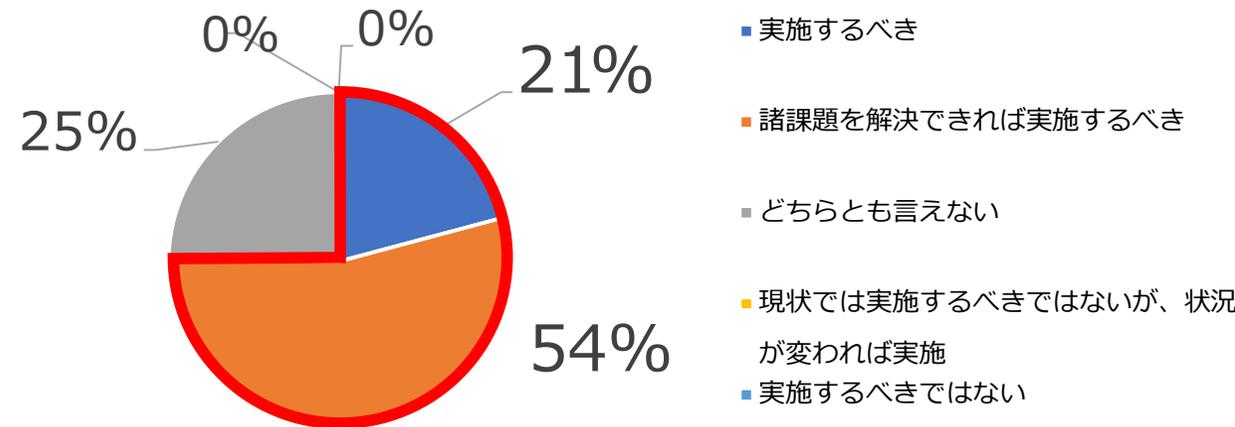
# 効果と課題 2 (課題調査)

- 認定5年での更新。非更新者が多数発生。
- 兵庫県MC協議会事務局の調査 (令和4年3月実施、N=24、回答率100%)

指導救命士体制についての課題



兵庫県指導救命士研修の実施について



## 課題

- 業務や位置づけが不明瞭
- ネットワークが不十分
- 業務負担が大きい
- 希望者が少ない
- 更新要件が厳しすぎる

## 指導救命士更新時研修：諸問題を解決し試行開催

- 人が出せない：3日→1日、必須→希望性
- 交通費がかかる：WEB (ハイブリッド) 形式
- 県MC認定の研修会を更新要件の時間に含む

- 統一の指導救命士の章は配布不要 (2/3)

# 今後・まとめ

- 本部職員が減少  
⇒ 人事への介入は今後の課題
- 兵庫県指導救命士ブラッシュアップ研修の試行開催  
⇒ ネットワーク構築、課題解決能力の維持向上
- 共有ファイルサーバーの新設  
⇒ 業務の効率化、ネットワークの強化
- 認定要件を緩和（病院実習等とし県MC認可研修を認める）  
⇒ 本部等現場以外の指導救命士でも更新可能に。

魅力あるオピニオンリーダーを目指し  
サステナブルな体制を確立